

平成 30 年度 数学科

教科	数学	科目	(学)数学演習	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書							
副教材等	センター攻略 数学 I +A, II +B (東京書籍出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

反転授業を目指した参加型の授業です。主体的な取組みを評価します。  
 内容は、数学 I・A・II を主に取扱います。  
 予習をしっかり行い、授業に望んでください。  
 当日は、輪番で黒板に発表してもらう予定です。

2 学習の到達目標

演習を通じて、数学的な考え方を身につけ、更に活用する力をつける。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:数学的な技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	積極的に課題に取り組んでいるか。また、課題を通じて、より深く学ぼうとしたか。	多岐にわたる表現を自在に表せるか。 また、数学的な表現を用いて、理論的に表現することができるか。	数学的な技法等を用いて、数学的な課題を解決することができるか。	基本的な数学的な知識を習得しているか。
評 価 方 法	課題 授業態度 レポート 発表 試験	課題 授業態度 レポート 発表 試験	課題 授業態度 レポート 発表 試験	課題 授業態度 レポート 発表 試験

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期(中間)	第1章	数と式	○	○	○	○	a:積極的に課題に取り組んでいるか b:多岐にわたる表現を自在に表せるか。また、数学的な表現を用いて、理論的に表現することができるか。 c:数学的な技法等を用いて、数学的な課題を解決することができるか。 d:基本的な数学的な知識を習得しているか。	課題 授業態度 レポート 発表 試験
	第2章	二次関数	○	○	○	○		
1学期(期末)	第3章	図形と計量	○	○	○	○		
	第4章	集合と論証	○	○	○	○		
2学期(中間)	第6章	場合の数	○	○	○	○		
	第7・8章	整数の性質 図形の性質	○	○	○	○		
2学期(期末)	第8章	図形の性質	○	○	○	○		
	第9章	方程式・式と証明	○	○	○	○		
3学期	第10章	図形と方程式	○	○	○	○		

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:思考・判断・表現  
c:技能      d:知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

